



津屋崎

学力テスト結果報告 特別号

令和5年10月13日

福津市立津屋崎小学校

校長 木庭 竜之助

全国学力・学習状況調査，福岡県学力調査の結果について

令和5年度の全国学力・学習状況調査（4月実施，国語・算数，6年生対象）と福岡県学力調査（6月実施，国語・算数，5年生対象）の結果が届きました。福津市教育委員会の方針に基づき，本校の結果についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査の平均正答率，児童質問紙の結果等の比較(6年生対象)

平均正答率	国語	算数	児童質問紙 (%)	自分にはよ い所がある	夢や目標を もっている	計画を立て て勉強してい る	学校以外の1日あ たり1時間以上勉 強している	地域や社会をよ り良くするために 何かしてみたいと 思う	地域の行事に 参加している
津屋崎小	やや上回 っている	ほぼ同じ	津屋崎小	ほぼ同じ	ほぼ同じ	やや上回っ ている	ほぼ同じ	やや下回っ ている	ほぼ同じ
福岡県	101	100	福岡県	82.3	81.3	67.2	53.5	76.4	55.1
全国	100	100	全国	83.5	81.5	70.7	57.1	76.8	57.8

左の表は、全国の平均正答率を 100 とし て相対的に比較したものです。国語は、全国平均を やや上回っており、算数は、全国平均、県平均と比べてほぼ同じです。これらから、基礎的な学力について、おおむね身につけていると言えます。しかし、ここに表れているのは「学力の特定の一部」です。この結果だけからは見えにくい「学びに向かう力」等、子どもが自ら自己・他者・社会を探究する中で、つながりを実感し、よりよく創り上げていこうとすることを大切にしていきます。

右の表の児童質問紙は、肯定的回答の合計を比較したもので、6つの項目について報告します。自分自身に関する2項目は、全国や県の平均と「ほぼ同じ」値になっています。また、地域や社会に関する2項目については、全国や県の平均より「やや上回っている」、もしくは「ほぼ同じ」となっています。家庭学習に関する2項目については、全国や県の平均より「やや下回っている」もしくは、「ほぼ同じ」となっています。このことから、地域コーディネーターや学校、地域、家庭が連携し、協働して取り組んできたことが一定の成果となって表れていることがわかります。特に、児童の家庭学習習慣については、昨年度までの課題を踏まえ、個に応じた家庭学習の在り方を検討、改善してきた結果であると考えられます。今後も、「社会とつながり、主体的に考え、判断し、行動する子どもの育成」に努めていきます。

福岡県学力調査 平均正答率等の比較(5年生対象)

平均正答率	国語	算数
津屋崎小	下回っている	下回っている
福津市	103	103
福岡県	100	100

左の表は、福岡県の平均正答率を100として相対的に比較したものです。国語・算数ともに、県平均を下回っています。いずれも、「思考・判断・表現」を問う問題に課題があり、特に、国語では、目的や必要に応じて自分の考えの理由を挙げて書くこと、算数では、四則計算に課

題があります。基礎基本の定着を一層図るとともに、根拠を示しながら自分の考えを表現する場面を増やし、表現する力を伸ばしていく必要と考え、指導の見直しを行っていきます。

今後の改善の取組

○ 主体的に学ぶことができる授業の充実

自分で課題を見いだしたり、複数の課題から選択・自己決定したりするなど、自分自身で考え、判断し、行動できるような場면을授業の「見通し(導入)・活動(展開)・ふりかえり(終末)」に位置づけるよう改善していきます。また、デジタルツール等を活用し、説明したりプレゼンテーションしたりするような学習をより一層展開し、さらに子どもが夢中になる授業、深く探究する授業へと充実させていきます。

○ 子どもが主体的に取り組む家庭学習の充実

家庭学習に関しても、教師が「させる」、子どもは「させられる」から、子ども自らが考え、選び、決定するものへ転換していきます。自分の課題に応じて自分で宿題を組み合わせる「お弁当方式」やいつもの宿題に自分で課題を「プラスワン」する取組など、発達段階に応じて、子どもが主体的に取り組むものにしていきます。その際、津屋崎中校区で共通して実施している「チャレンジウィーク」等を活用し、家庭学習の在り方について、教職員、児童、保護者と共通理解と連携を図りながら、自分で計画を立てて勉強し、主体的に家庭学習に取り組むことができるようにしていきます。

○ 「ふるさと学習」の充実

津屋崎小校区は、「ふるさと学習」の素材の宝庫です。コロナ禍で自粛していた地域の行事も新たな形に生まれ変わり、活気とともに復活しています。今後も更に、地域コーディネーターや学校、地域、家庭が連携し、協働して取り組んでいくことで、自己有用感や地域への愛着、参画意識を高めていきます。

